

## 会議録

第3回 男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和元年8月6日(火) 10時30分～12時20分
開 催 場 所	市庁舎2階 政策局会議室
出 席 者	沖野 智子委員、舩橋 恵子委員(職務代理者)、井上 義臣委員 事務局：齋藤女性活躍・男女共同参画担当理事、大友男女共同参画推進課長 小林課長補佐、担当幕田
欠 席 者	広岡 守穂委員長
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者なし)
議 題	1 申請団体プレゼンテーション 2 ヒアリング 3 採点 4 評価、指定候補者選定 5 横浜市男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会 審査報告書(案)確認
決 定 事 項	1 横浜市男女共同参画センターの指定管理者候補者として、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会を選定する。 2 横浜市男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会審査報告書は、委員意見をまとめて確定する。
議 事	委員長が欠席のため、議事に先立ち、「横浜市男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第6条第3項に基づき、あらかじめ委員長が指名した舩橋委員に、職務代理者を依頼。  1 <u>申請団体プレゼンテーションについて(公開)</u> 申請団体による第4期指定管理の事業計画プレゼンテーション (30分)  2 <u>ヒアリング(非公開)</u> (委員) 素晴らしいプレゼンテーションだった。その中に出てこなかった内容で言うと地域防災への女性の視点を入れた取組はどうなっているか。 (申請団体) 地域において、女性の視点から考える防災にも取り組んでいる。自治会・町内会、老人会などからの講師派遣の要請を受けて年間20件程度、職員を講師として派遣し、研修等を行っている。また、横浜市の総務局や政策局と協働で、市民防災センターにおける講座なども実施してきた。次期指定管理でも、講師派遣等を実施していく予定。

(委員)

「A I 等デジタル技術の進化が女性の就労に及ぼす影響」の調査という取組があったが、具体的にはどのようなものか。

(申請団体)

A I 等デジタル技術の進化により、経済活動における女性の活躍の場、労働の場や機会が減るという説があったり、一方でジェンダーレスになるという説などもある。さまざまな影響や可能性が予測されているので、大学等と連携し、時代の流れに応じて、状況を見ながら調査を行っていききたい。

(委員)

少子高齢化が進み、利用者の増加は見込めない中で、それでも利用者を増やすことに対する取組はどう考えているか。

(申請団体)

今期の指定管理期間において積極的にアウトリーチを行ってきており、年間利用者 88 万人にはアウトリーチの参加者分を含んでいる。やはり、男女共同参画センターから出張して行うアウトリーチの取組は非常に鍵となると考えている。ハラスメント研修や防災講座、若い学生のキャリア支援等、講師派遣などによるアウトリーチも効果的である。

また、男女共同参画の視点で収集している男女共同参画センターの図書資料を、地域子育て支援拠点や母子生活支援施設等の施設にミニライブラリーという形で設置し、多くの方に手にとっていただけるようにしている。これもアウトリーチの一環。こういったことは、次期指定管理でも実施をしていきたい。

(委員)

自身も子育て世代の立場であり、性別役割分担意識の根深さを感じている。同じ子育て世代の保護者の中でも、進学先、就職先等の話題で「女の子だから」「男の子だから」という発言がみられ、まだまだ意識が変わっていない状況を感じることもある。そういった意識の親の元で育つ子どもには、性別役割分担意識が大きく影響するものだと思う。こうした子育て世代に対して、地域子育て支援拠点などでの事業展開により、意識改革につながるような啓発を行ってほしい。こういった取組についてはどうか。

(申請団体)

女らしさや男らしさにこだわらない、自分で自己決定をしていくお姫様の物語、「アリーテ姫の冒険」というイギリスの絵本を、昨年度復刊した。これは 30 年前に、市民グループと一緒に翻訳・発行し、当時 12 万部売れたもの。昨年度は男女共同参画センター横浜が開館 30 周年を迎え、それを記念してクラウドファンディングを実施し復刊を行ったもので、市内 350 校余りある小学校全校へ寄贈させていただいた。

先日も教育委員会の先生方がセンターへ視察に見えられたが、学校へもセンターのプログラムが届くような仕組みを考えていくことを検討したい。性別役割分担意識、固定概念の払拭を行っていかねば。

(委員)

そういった意識の原因の1つとなっているのが、我々子育て世代かと思うので、アプローチをしていってもらえるとよい。

(委員)

地域子育て拠点や広場事業などを実施する場所で、そういった子育て世代へ啓発を実施できるとよいのだろう。

(申請団体)

さまざまな団体と連携を深めていきたい。企業連携としては、女性がなかなか理系へ進学しないという問題もあるので、地元企業に講師を派遣していただいて、小学校高学年向けにリケジョ育成事業というのも実施している。

(委員)

来館者数について、延べ利用者と人口の比率を出しているが、延べ利用者にはリピーターが入っているので、統計学的に人口の何%が利用、というのは言えないかと思われる。

提案内容は非常に素晴らしく、やはりさすがだな、と感心したところ。ただ今後の課題と言えるのが、子育て支援とは言うものの、出産の部分がストンと抜け落ちている。例えば日本の陣痛促進剤の使用率はこの四十年来変わっていない。

医学的に必要のない陣痛促進剤を使用したことによる不自然で苦しい陣痛、また陣痛の間ひとりで放置されてしまうことなどもあり、そのことによって、その後子育てがうまくいかなかったり、自信が持てなかったりすることがある。

そういった点で、助産師との連携というのもお考えいただけるとよい。横浜市立大学附属病院は産婦人科もあるので、そういったことに関心のある助産師と。

また大学との連携という点でいうと、横浜国立大学は男女共同参画推進センターがあり活発に取り組んでいるが、横浜市立大学の状況はよく分からず、そういった組織はないかと思われる。市内の団体と横浜市立大学が連携していかれるとよい。

また男女共同参画センターは市内3館しかなく、利便性のよくない市民の方、赤ちゃん連れで行きづらい方もいらっしゃると思う。アウトリーチや顔を合わせての出会いももちろん大切ではあるが、ホームページを工夫することもできるのでは。申請団体のホームページは今でもとても素晴らしいが、もっとよくなると思う。自宅からでもウェブ上でアクセスできるバーチャルセンターのようなものもよい。

(申請団体)

ホームページは、今年3月に分かりやすくリニューアルした。

(委員)

非常に見やすく、使いやすかった。

(申請団体)

まだ詳細な検証はこれからだが、ホームページが見やすくなったことにより「ホームページを見て相談した」という20代の方からの御相談者も増えている。

(委員)

人事面についてだが、一昨年度の中間評価の際に、指定管理制度のもとでは安定的な運営が見込めないで、嘱託員や契約社員などの雇用形態に頼らざるを得ないとのことだった。今回非公募になったことにより、そういった状況を変えていくことができるだろうか。勤務形態の表を見ると、常勤・非常勤で分けた場合、あまり状況は変わっていないように見える。ローテの組み方等も変わっていない様子。だが、待遇はざっくり言うと3倍くらい違う。そういった格差を変えていくことについては、どう考えているか。まさにジェンダー問題そのものであると思う。

(申請団体)

その点については、課題だと思っている。正規職員、契約職員、嘱託職員などがいて、働き方の問題、待遇の問題などあるが、まずは職制ごとに必要と考える能力・役割等を整理し、明示することから始めたいと思っている。今まさに取り組んでいるところ。国全体の、同一労働同一賃金の動きなどを、指定管理者としてのみならず、団体として取り組んでいく。

(委員)

他に意見もないようなので、ヒアリングは終了とする。申請団体は退室してください。

<申請団体退室>

### 3 採点 (非公開)

ヒアリングを踏まえて、各委員による採点  
事務局による集計

### 4 評価、指定候補者選定 (非公開)

(委員)

事務局から集計結果の報告をお願いする。

(事務局)

3名の委員による採点の集計結果について説明

最低基準である、各項目の総配点の6割、かつ合計得点の7割以上をクリアしていることを報告

<集計結果>

申請団体 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会

審査得点 519点/600点

(委員)

指定管理者候補者決定に入る前に、申請団体の欠格事項の確認について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

申請要項5(1)の欠格事項について、申請団体から「欠格事項に該当しない宣誓書」の提出があったことの報告。また、

①法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税を滞納していないこと

②暴力団又は暴力団経営支配法人等でないこと

について、関係部署へ照会をし、該当がないことを確認したことについて報告

(委員)

続いて、申請団体の財務状況について、公認会計士の委員から報告をお願いします。

(委員)

3期分の財務諸表を確認した。正味財産増減計算書から読み取れる、経常収支についてすべてプラスであり、また正味財産についても財産的な担保がされていることを確認した。

(委員)

ではこれより、提案に対する評価と、指定管理者候補者の決定に入る。

まずは、採点結果を踏まえて、男女共同参画推進協会の提案内容に対するご意見があれば、いただきたい。

選定評価委員会として、協会が、男女共同参画センターの指定管理者にふさわしい団体と選定できるかどうかだが、いかがか。

(委員)

相対的には、経験年数・実績ともに重ねてきており、申し分ない。センターに来られない人について、アウトリーチは今後も継続して行って欲しい。ホームページやフェイスブックなど既に広報してもらっているが、これは見たい人が開かないと、というところが弱さ。すでにつながりのある企業や地域など、名刺交換した人などに直接メールするなどして、裾野を広げる取組をしていってもらえるとよい。

(委員)

クラウドファンディングで復刊した話など、よい取組をしていると感じた。子育て世代の意識改革に取り組んでいただくと、次世代を担う子たちの意識・教育に直結してくるので、これからは期待したい。

日本はまだまだ女性活躍という意味では遅れているので、環境が更によくなるような取組をしていっていただきたい。

(委員)

着実に実績を積み重ねて来られ、さらに新規事業も考えていて信頼できる。出産の部分については、先ほど述べたとおりで、助産師との連携に期待したい。ニュージーランドは女性首相が、首相になってすぐ妊娠・出産したが、助産師がずっとフォロー・ケアする仕組みがあった。

また、横浜市立大学にもジェンダー関係を研究している方もいるようなので、連携を期待したい。

アウトリーチについて、ホームページの更なる充実や、メールによる定期的な情報発信なども期待したい。

各委員の意見や評価点を総合して、選定評価委員会としては、協会が、男女共同参画センターの指定管理者にふさわしい団体と選定できると判断したいがよろしいか。

<委員了承>

5 横浜市男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会 審査報告書(案)確認  
(非公開)

(委員)

本日最後の議題として、これまでの審査結果を踏まえ、当選定評価委員会の審査報告書の原案の確認を行う。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

審査報告書(案)配布、説明

(委員)

本日委員から出た意見については、総評に盛り込んでほしい。

今後の確認については、私や委員長と、事務局の調整にお任せいただいでよろしいか。

<委員了承>

資 料 ・ 特 記 事 項	1 第3回横浜市男女共同参画センター指定管理者選定評価委員会次第 2 評価シート 3 審査報告書(案) 4 特記事項 なし
---------------------	---